

*****株式会社 御中
 (住所)
 TEL ***** FAX*****

依頼者			様
(依頼元処理欄)			

株式会社オーディス
 (住所) 東京都江東区深川1-1-5
 TEL 03-3630-1791 FAX03-3630-1663
 http://odis.co.jp e-mail:info@odis.co.jp

独立行政法人工業所有権情報・研修館 委託事業
 2019年度中小企業等特許情報分析活用支援事業
 特許情報分析報告書 (③審査請求段階○○○)

調査名称 マニピュレータにおける****				調査DB	ODIS-Web
調査 範囲	国名	公報種別		調査期間	
	日本	公開系	特許	昭和**年**月**日ー平成**年**月**日	
			実案	昭和**年**月**日ー平成**年**月**日	
				添付資料 明細書 4件	

〈調査観点〉

- CL1(A) 撮像と少なくとも一つの1自由度以上のマニピュレータにおいて、操作部と表示画面の上下左右方向が同一である。
- CL2(B) CL1の操作部と表示画面の上下左右方向が同一になる構成は、挿入部の中心軸回りにマニピュレータ操作部が回転自在である。
- CL3(C) CL2の操作部回転箇所のマニピュレータ伝達部材はコイルやワイヤーなどの弾性部材である。
- CL4(D) CL1の操作部と表示画面の上下左右方向が同一になる構成は、挿入部の中心軸回りに撮像が回転可能である。

〈調査結果要旨〉

1. CL1構成要件(A)に類似した先行資料①、②を抽出しました。
 資料①は、操作指令を入力する操作手段とマニピュレータの映像を画面に表示する表示手段を備え、操作手段で入力した操作方向と表示手段で表示されるマニピュレータ映像の動作方向とを一致させる指令を生成するものです。
 資料②は、手術用マニピュレータの座標系と、操作手段の座標系との関係に応じてその座標系の設定及び変更により、操作者から見た手術用マニピュレータと操作手段との動作方向を一致させることができるものです。
2. CL2構成要件(B)を備えた先行資料は抽出されませんでした。
 構成要件(B)の参考として先行資料③、④を抽出しました。
 資料③は、操作指令部は、連結部の中心軸方向に対して直交する回転軸を有する第3の回転軸と第3の回転軸に対して直交する回転軸を有する第4の回転軸からなる姿勢操作部と、処置操作部とを有しているものです。
 資料④は、作業部と操作部を備えるマニピュレータで、操作部側の連結部材の中心軸を軸として該連結部材に回動可能に連結するものです。

3. CL3(C)構成要件(C)を備えた先行資料は抽出されませんでした。

4. CL4 構成要件(D)を備えた先行資料は抽出されませんでした。

調査によって開示されなかったクレームまたは構成要件： CL3(C)、CL4(D)

〈調査結果詳細〉

クレーム	判定	公報番号	該当箇所	構成要件	出願人
1	Y	特開 2003-265*** (資料①)	操作手段 8、9 の操作方向と表示手段 10 に表示されるマニピュレータ映像の動作方向とを一致させる制御指令を生成する。 【解決手段】 【0016】 【図 3】	(A)	* * *
	Y	特開平 07-328*** (資料②)	マニピュレータ 100 の操作手段としてのジョイスティック 106、前記観察手段 102 から得られた観察像を表示するための、TV モニタなどからなる表示手段 107 がある。 表示手段 107 の上下、左右、前後方向の座標 109 と、ジョイスティック 106 の操作方向 X、Y、Z とを、前述した座標変換方式により設定し直して、互いに対応させることにより、画面に対して所望の方向を見たいときに、ジョイスティック 106 の操作方向が直ちにわかり、その操作性を良くする。 【0073】 【0074】 【図 22】 【図 32】	(A)	* * *
2	Z	特開 2002-102*** (資料③)	連結部 30 の中心軸方向に対して直交する第 3 の回転軸 21 と第 3 の回転軸に対して直交する第 4 の回転軸 22 からなる姿勢操作部 23 と、を備え、処置操作部 24 は、操作者が処置操作部を把持する際の操作者の把持する指の方向と第 4 の回転軸 22 の軸方向とは概ね平行であるように形成されている。 【解決手段】 【0024】 【図 1】 【図 2】	(B)	* * *
	Z	特開 2006-289*** (資料④)	作業を行なう作業部と、操作を行なう操作部とを備え、操作部を第 1 および第 2 の操作部材から構成し、第 1 および第 2 の操作部材を、操作部側の連結部材の中心軸を軸として該連結部材に回動可能に連結する。 【0005】 【図 1】 【図 2】	(B)	* * *

判定： X：単独で先行技術開示 Y：組合せで先行技術開示 Z：参考

〈検索式〉

- (FT1=3C007+KW1=(マニピュレータ+マニプレータ+マニピュレータ))*KW1=(撮像+画像+表示+イメージ+観察+見+画面+ディスプレイ+モニタ)*KW1=(同一+同じ+一致+合致)*KW1=(方向+向き+動作+動き+操作+座標)・・・***件
- (FT1=3C007+KW1=(マニピュレータ+マニプレータ+マニピュレータ))*KW1=(回転+ローテ)*KW2=中心軸*KW2=(操作+オペ)・・・***件

記号の説明

- FT1・・・Fターム検索
- KW1・・・「発明の名称+要約+請求の範囲」の語句検索
- KW2・・・「全文」の語句検索
- +・・・OR検索
- *・・・AND検索

使用検索データベース

ODIS-Web

検索期間

1983年～2019年X月Y日

検索式の説明

1式は、マニピュレータのFターム（3C007）とマニピュレータの語句の組合せに、マニピュレータの画面表示方向と操作方向が一致するものを検索するものです。

2式は、同じくマニピュレータの中心軸周りの回転操作を検索するものです。